## 令和6年度 埼玉県病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修プログラム

## 研修目的・意義

- ・認知症の人の視点に立った、本人の生活を支える知識と方法を習得する。
- ・早期発見・早期対応の重要性を理解する。
- ・多職種連携の重要性とその活用についての方法を理解する。

開催日時 : 令和7年1月22日(水) 13時~15時30分

時間	項目	研修内容		講師
13:00		開会あいさつ		埼玉県
13:05~ 13:30 (25分)	I 知識編	ねらい	認知症の人や家族の視点に立ち、その生活を支えるため に必要な基本的な知識を習得する。	霞ヶ関南病院 医師 長島 一公 氏
		到達目標	・認知症の現状やその病態について、概要を説明できる。 ・認知症の早期発見・早期対応の意義を理解できる。	
		主な内容	・研修全体の目的・意義 ・認知症施策の推進について 認知症施策推進大綱 ・共生社会の実現を推進するための認知症基本法 ・認知症とは(概念 主な疾患の特徴 症状と経過) ・認知症予防と多職種アプローチ	
13:30~ 14:40 (70分)	II 実践編	ねらい	認知症の人の QOL の向上を図るため、コミュニケーション、ケア及び多職種連携による支援の実際を理解する。	みさと健和病院 認知症看護認定看護師 青木 稔枝 氏
		到達目標	<ul><li>・認知症の人の意思を尊重したケアの基本を理解できる。</li><li>・認知症の人や家族への支援のポイントを理解できる。</li><li>・BPSD について理解し、その対応について理解できる。</li><li>・認知症の人の支援にあたって、多職種連携の意義や方法を理解できる。</li></ul>	
		主な内容	・本人視点を重視したアプローチ ・意思決定支援の基本原則とプロセス ・認知症の人のケアとコミュニケーション ・アセスメントの留意点 ・パーソンセンタードモデル ・家族・介護者への支援 ・BPSD(認知症の行動・心理症状)対応の基本 ・認知症の非薬物的対応 ・多職種(他事業所間)連携の意義と実際	
		<del>,</del>	休 憩 (10分)	
14:50~ 15:05 (15分間)	Ⅲ 社会資源編	ねらい	認知症の人を取り巻く、医療、介護及び地域の社会資源等 の活用の重要性を理解する。	霞ヶ関南病院 医師 長島 一公 氏
		到達目標	・認知症の人を支える施策や仕組みを理解できる。 ・活用できる制度等について、本人・家族に説明できる。	
		主な内容	・地域包括ケアシステム ・認知症の人への支援体制(医療・介護・地域の連携) ・認知症の人を支える様々な仕組み ・若年性認知症の人への支援	
15:05~ 15:25 (20 分間)			「意思決定支援」組み込み動画(20分)	動画
15:25~ 15:30 (5分間)			質疑応答	長島 一公 氏青木 稔枝 氏